



令和7年度6月
みつづかこども園

たくましく明るい子を目指して

昨年度末、職員の振り返りの自己評価で、「発達に合わせた体の育ちを促す遊びを取り入れる」ことが課題としてあげられました。そこで今年度より「さくら・さくらんぼ体操」を取り入れました。まず、3・4・5歳児からはじめ、2歳児、そして1歳児も加わってきました。この運動は、ピアノの音に合わせて行うリズム遊びで、ウサギ、カエル、カメ、金魚、馬、つばめ、三輪車、蒸気機関車などになりきって次々に動きを変えていきます。「走る・止まる」「あえて転ぶ」といった「動と静の組み合わせ」を基本とし、ピアノの音を聞き分け、どう動くかを自分で判断します。こうしたことを楽しみながら体を緩めたり、筋力・バランス感覚を高めたりしています。思い切り体を動かすことが好きな子どもたちのとびきりの笑顔が見られる素敵な時間になっています。

梅雨の季節がやってきます

新しい環境に慣れ、自分の思いが出せるようになってくるとともに、活動も活発になり始めます。気温が上がリ、水遊びなども楽しい時期ですが、梅雨の蒸し暑さに不快感を覚えたり、食中毒を起こしやすくなったり、活動的になることでケガもしやすくなったりします。汗をかいて身体がべとついたり、けだるさを感じたりして、気分が乗らず、登園を渋る子もいるかも知れません。また、自分の思いが出せるようになったことでイライラした気持ちを表に出したり、友達と思いの違いでもめたりしやすくなる時期でもあります。

園内を過ごしやすい環境に整えるよう努力しますが、ご家庭でも体調の管理に十分ご注意ください。

また、傘や長靴はよく似たデザインのものが多いので、記名(フルネーム)の確認もお願いします。

〈園児健康診断について〉

- ・できるだけお休みのないようにしてください。欠席の場合は、後日山川医院で健診を受けていただきます。

〈7月までの行事予定について〉

- ・7月1日(火)2日(水)の午前中にフリー参観、7月19日(土)に夕涼み会を予定しています。詳しくは、プリントをご覧ください。

人物を作る3つの要素

お釈迦様が残された言葉に「人物を作る3つの要素」があります。この「人物」とは、「世の中に寄与し、まわりからその存在を喜ばれる人」とも解釈されますが、その3つの要素は、①貧乏 ②読書 ③母親の感化です。

「貧乏」は、必ずしも経済的な困窮という意味ではなく、額に汗して得たお金は、ギャンブルなどに使わず、自分の働きの対価としてこのくらいの価値、ということを教えましょう、という意味でしょう。

「読書」は、未知なる世界に誘ってくれて、その人を広く大きくします。

3番目の「母親の感化」は、本当に子どもを育てている母親の影響が強いですよ、ということのようです。では、父親の役割は？根源的に、父親は母親が安心して子育てできるよう経済的に精神的に安定させることで、間接的な参加になりそうです。そして、もう一つ重要な役割は、「親離れ」をさせること。母親と子どもとを引き離す(子を自立させる)ことが父親の2つめの役割。父親は淋しい存在なのかも…。でもこうした役割分担は家庭によって補完し合うこともできそうです。(小林正観・中村多恵子「天才たちの共通項」より) 園長 小藪 達也

行事予定

2日(月)	交通安全指導
4日(水)	げんきはなまる撮影(5歳児)
13日(金)	交通安全指導・発育測定
17日(火)	ダブルダッチ体験・パフォーマンス(4・5歳児)
18日(水)	子育てサロン
19日(木)	茶道教室(5歳児)
20日(金)	保育料引落日
24日(火)	避難訓練
25日(水)	英語で遊ぼう(4・5歳児) 園児健康診断
30日(月)	個別懇談(~7月11日まで)